

仙台圏の「いま」を伝える

# せんだいなう!

# みらいん ゆうかん

9月号

URL <http://www.sendai-mirain.com/>

「みらいん」は、仙台市内で津波被害に遭われた被災者の方などに向けて発行している地域かわら版です(みやぎの版、わかばやし版、たいはく版)。「みらいん ゆうかん」では、みらいん編集部が被災地の現状について取材した話題や情報を、月1回お伝えします。

## 情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

### ハンドケアボランティア募集

被災女性の団体によるボランティア活動です。午前中にプロの講師によるハンドケアを学び、午後から被災された方にハンドケアを実践します。

【対象】18歳以上でボランティア保険に加入している方

【日時・活動場所】

9月17日(月) 仙台市・あすと長町仮設住宅

19日(水) 石巻市・開成地区第11仮設住宅

22日(土) 石巻市・大橋仮設住宅

25日(火) 仙台市・仙台港背後地6号公園仮設住宅

29日(土) 石巻市・大森地区第2仮設住宅

【申し込み方法】ホームページ申し込みフォームより

【問い合わせ】杜の都チームドルフィンドリム(天野)090(4887)1977

<http://www.dolphindream.jp/idta/1000project.htm>

### 赤い羽根 地域ボランティア活動支援事業第4次応募の受け付けを開始します

宮城県共同募金会では、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業として、東日本大震災被災地の地元住民グループなどによるボランティア活動を支援する助成金の第4次応募を受け付けます。

【対象】宮城県で地元住民のグループなどによる、助け合い活動を行う住民団体やボランティアグループ、NPO法人など、県民5名以上で構成される非営利団体

【対象事業例】①引っ越し・片付け、見守り訪問などの生活支援活動②季節の行事、住民交流などのサロン活動③子どもの学習支援や一時預かりなどの子ども支援

【配分金額】1団体1回につき10万円まで

【応募受付期間】10月1日(月)~31日(水)必着。11月下旬に助成団体を決定。

【応募方法】各団体から市町村共同募金委員会を通じ申請。各市町村の委員会に相談してください。

【総合問い合わせ】宮城県共同募金会 022(292)5001

紙面のご意見やご感想をお寄せください。  
みらいん編集部  
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12  
協同組合みやぎマルチメディア・マジック内  
022(390)5755 kawara@mmmm.or.jp

## 自身の被災体験から語る自宅購入



荒浜で自宅のあった場所を案内する前之浜さん。海が好きでサーフィンが好きでこの地を選んだけど、まさか津波が、それもあんな大きな津波が来るとは想像もなかった。家族のためにもまだまだ頑張らなくちゃねとお父さんの顔を見せられました。

## 資金計画立て検討を

ファイナンシャルプランナーの前之浜博さん(46)は若林区荒浜に移り住んで13年目の昨年、東日本大震災による津波被害を受け、自宅を失いました。一家4人は無事でしたが、民間借りに上り住宅での仮住まいが続いています。家族のために一日も早く自宅を再建しようと奔走する中で、被災ローン減免制度(個人版私的整理ガイドライン)の申請をしました。が、対象とはなりません。抱えたまま、自力で再建をするしかありません。同様の境遇で移転を考えている多くの方々へ、前之浜さんからプロの知識も踏まえたアドバイスをいただきました。表も参考にしてください。

### 住宅取得前に確認したい事項と「資金計画」

- ・現在の個人資産の総額: ご主人やご家族の預貯金などの合計
- ・住宅ローンが残っているか否か: 住宅ローンの残高、期間
- ・収入が今後いかに推移するか: 定年時期や再就職後の収入
- ・現在の家族構成と将来像: 10年後、20年後の家族はそれぞれどのような生活を望んでいるか

以上の事項を踏まえて「資金計画」を立て、シミュレーションする  
所得額の推移や生活費・教育費・住宅ローンの返済など、お金の出入りを長期的に考える  
※移転土地を借地した場合は、借地料免除期間も考慮する

### 災害危険区域の指定を受けて新たに自宅を求め方の選択肢

1 単独移転 ・個人で自宅を新築又は購入する(戸建・マンション) ・個人で中古住宅を取得する(戸建・マンション)	・住宅ローンの利子助成制度(他の市町村へ移転した場合にも適用)
2 集団移転(土地、建物取得) 仙台市が設定した移転用地のうち、個人が希望する地区に土地を取得し建物を建築する	・住宅ローンの利子助成制度
3 集団移転(借地、建物取得) 仙台市が設定した移転用地のうち、個人が希望する地区に土地を借り建物建築する	・借地料の長期免除制度 ・住宅ローンの利子助成制度
4 復興公営住宅(戸建・集合住宅) 今後建設される復興公営住宅に入居する	家賃は入居者の収入と住宅の規模に応じて算定する(低所得者への減額あり)

※代表的な助成・補助制度です。この他にも各種の制度があります

「自宅の購入は、一生の間に何度もあることではありせん。しかも、今回の移転に関しては、各種制度の恩恵を受けるのは一度だけです。ご家族みんな

でよく考え話し合ってほしいですね」と言います。新居の場所を既に決めていらつしやる方も多いと思えます。しかし、もう一度確認してほしいのが「資金計画」です。預貯金や地震保険金、養

援金など、現在手元にあるお金の総額を確認し、取得のための頭金が決まりま

「自分にあつた条件で自宅を構えるには、自分なりにライフプランがとて重要なになります。ぜひ早い段階で資金計画を立てて、長期的なライフプランを考えてみてください」と前之浜さんは呼び掛けています。

分についたローンを探すとを忘れないでください」と言います。もう一度住宅ローンを組まなければならぬけれど、今のまま健康に仕事を続けられ何とかなるだろう、とお考えの方こそ「ライフプラン」を立て、今後の収入と支出シミュレーションをしてほしいと強調します。

## 今月の1枚

### 浄土寺の墓参風景

津波で施設が流失し、現在は仮本堂が置かれる若林区・荒浜の浄土寺。震災後2度目のお盆を迎えた墓所には、建て直された墓石を前に手を合わせる家族連れの様子が、後を絶ちませんでした。



23日 誰が植えたのでしょうか?震災後使われていない若林区・東六郷小の校舎前の花壇に、ヒマワリが夏空に向かって咲き開いていました。子どもたちが使っていた学校のことを、いつまでも忘れないでいるからね、と伝えていたようでした。



12日 太白区・あすと長町仮設住宅で、自治会が主催する初の夏祭りが行われました。仮設住宅の外からも多くの来場者が訪れ、住民の皆さんも感無量の様子でした。  
17日 宮城野区・南浦生の水路でカニとサリガニを発見。目を凝らすとアメンボ、イモリにトンボの姿まで。水路は流れが無く、ヘドロが堆積していましたが、その中で生物の営みが続いているようです。もときれいなになれば、さらにたくさん生物が見られるようになるでしょう。  
19日 宮城野区・中野地区4町内会が毎月第1、第3日曜に定例で実施中の会議「中野小学校区復興対策委員会」取材のため、鶴巻一丁目東公園仮設住宅集会所を訪